

『一神教学際研究』(JISMOR) 論文募集要項

2014年3月31日改訂

1. 本誌は年1回(3月頃)、日本語と英語の2言語で、電子ジャーナルとしてオンライン上で刊行します。同志社大学学術リポジトリおよび同志社大学一神教学際研究センターのウェブサイトで公開します。
2. 応募できるのは、原則として、一神教学際研究センターのリサーチ・フェローである者、もしくはリサーチ・フェローのうち1名以上が推薦する者です。
3. 応募原稿に対しては査読を行い、編集委員会が掲載の可否を決定します。
4. 原稿は、原則として未発表のものに限ります(再録の場合は、該当機関より掲載の許可を得てください)。
5. 投稿希望者は、5月末日までにレジュメ(書式自由、日本語の場合400字程度、英語の場合150 words程度)を電子メールにて提出してください。
6. 原稿の投稿締切は7月末日です。
7. 原稿はWord形式(下記テンプレート使用)とPDF形式の二種類を作成し、電子メールに添付して投稿してください。
8. 原稿は規定のMicrosoft Wordテンプレートを使用して作成してください。テンプレートは、一神教学際研究センター・ウェブサイトからダウンロードできます。
(<http://www.cismor.jp/jp/publication/index.html>)
9. 原稿での使用言語は、日本語および英語です。
10. 原稿は、横書きとします。
11. 分量は、以下のとおりです。
論文：日本語の場合、16,000~24,000字
：英語の場合、6,000~9,000 words
研究ノート、書評、研究動向：日本語の場合、8,000字以内
：英語の場合、3,000 words 以内
12. 1ページ目に、表題、執筆者氏名、所属、要旨(日本語の場合400字程度、英語の場合150 words程度)およびキーワード(5語)を記してください。日本語で執筆する場合は、表題、氏名、所属を英文で併記してください。
13. 注は、論文末に一括して掲げてください。参考文献表は、原則として掲載しません。
14. 欧文の著書・雑誌・新聞名はイタリック体で、論文名はローマン体で記入してください。
15. ヘブライ文字、アラビア文字、ギリシア文字、およびその他のラテン・アルファベット以外の文字は、原則としてラテン・アルファベットに転写し、かつ論文内で転写法を一貫させてください。
ヘブライ文字、ギリシア文字については、可能な限り、P. H. Alexander et al., eds.,

The SBL Handbook of Style: For Ancient Near Eastern, Biblical and Early Christian Studies, 1999 (以下 SBL)、第 5 章 (p. 25 以下) に準拠してください。

ヘブライ文字については、SBL には、Academic Style と General-Purpose Style が掲載されていますが、投稿者の目的に応じて、どちらを用いてもかまいません (その他、コプト語、アッカド語、ウガリット語等の古代語の転写についても、SBL の使用を推奨します)。

アラビア文字については、国内の投稿者は、可能な限り、大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』(岩波書店) に準拠してください。海外からの投稿者に対しては、とくに転写法を指定しませんが、アラビア語、ペルシア語、トルコ語の転写については、可能な限り、ALA-LC (Library of Congress) に準拠してください。

これらのガイドラインの入手が困難な場合は、編集委員会に連絡してください。

16. 原稿は刊行後 PDF ファイルにし、執筆者に提供いたします。

問い合わせ・提出先

同志社大学一神教学際研究センター 『一神教学際研究』編集委員会
e-mail: journal@cismor.jp